

# 委員会審査概要

市長提出議案について、3つの常任委員会において、より詳細に審査を行いました。

## 総務水道常任委員会

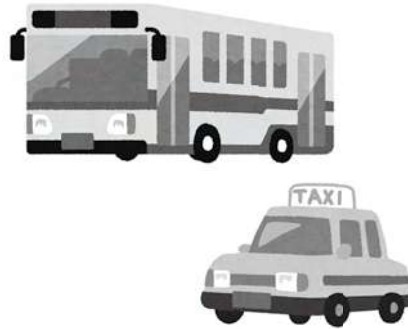
### ◆吉川市一般会計決算

#### ・公共交通について

令和2年度はコロナ禍で、緊急的にバスとタクシー事業者に2千万円以上の補助金を出した。バス会社に対しては、毎年1500万円の補助金を出している。公共交通を守っていくためには、日頃よりバス利用促進に関する取り組みが必要。事業者に直接補助するだけでなく、高齢者へバスの定期券半額補助など利用に対する補助制度の検討はあったか。

意見はなかった。公共交通事業者に対する対応について、問題視はしており、事業者との意見交換などを通じて、状況を見極めながら対応していきたい。

賛成多数で認定



### ◆吉川市一般会計補正予算

#### ・水銀灯照明のLED化について

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金で実施しているが、コロナ対策とLED化の関係は。

3次補正で国から指示された対象事業が、新型コロナウイルス感染症の防止対策の他に、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現が挙げられている。これにはデジタル改革やグリーン社会

の実現が含まれている。

#### ・財政調整基金の積立について

財政調整基金の積立として約3億円。残高は13億弱。公共施設整備基金積立金は6億円。その目的と考え方は。

財政調整基金は予算編成時に必要な財源として考えている。コロナ禍で緊急的な対応を想定して積み立てている。公共施設整備基金の積立については、昨年度公共施設の長寿命化を策定し、その中で老朽化が進んでいる公共施設について、今後大規模な修繕や中規模修繕が必要になることから積み立てを行った。長寿命化計画での公共施設修繕計画は。3年間で整備していく施設として、市民交流センターおあしす、旭公園球場、総合体育館がある。

賛成全員で可決

## 文教福祉常任委員会

### ◆一般会計補正予算

市内で医療的ケアを必要とする子どもの人数は何人か。

小学校区に就学している児童は1名である。特別支援学校等については、越谷特別支援学校に3名在籍している。

市では、以前にも痰の吸引が必要な子どもに看護師を配置していたが、その時との違いは。

異なる点は、国からの事業費補助がある点である。以前は、対象児の病歴等について担当の看護師と情報の共有化に課題があったと聞いているが、改善策は。



今回の事業では、医療的ケアを進めていく上での会議体をつくる。その会議において、主治医や看護師をはじめ、医療に精通した方の意見を参考に進めていく。

タブレットの持ち帰りは、学級閉鎖や臨時休校などに限らず、毎日持ち帰り、家庭での学習に活用できるようにすべきと考えるかがか。

全市的な持ち帰りも段階的に進めていきたいと考えているが、現在は、登校不安の方への対応となっており、見直しの必要性を感じている。学校への負荷も相対的に考えながら進めていくが、タブレットの持ち帰りを進めるといふ大きな目標は揺るぎないものと考えている。

賛成全員で可決

### ◆一般会計決算

子ども応援配食の実績は。

令和2年3月では10日間、同年4月では14日間、5月では17日間、合計41日分、58食の配食を実施した。屋外市民プールを維持継続していくのは難しいとの見解か。